

案件

成果連動型民間委託契約方式（P F S）を活用した介護予防事業について

健康づくり課

1. 政策等の背景・目的及び効果

運動機能の低下は、日常生活の活動の低下に直結するため、本市では「ひらかた元気くらわんか体操」や「ノルディック・ウォーキング」など高齢者の運動機能の維持・向上に資するツールを活用した「介護予防事業」を推進してきました。

さらなる介護予防事業の充実をめざし、令和3年7月から令和4年1月にかけて、国の「地方公共団体による成果連動型民間委託契約方式（以下、「P F S」という）に係る案件形成支援事業」による支援を受け、P F Sを活用した介護予防事業（以下、「S P R I N Gひらかた」という）の実施に向けた準備を行いました。

令和4年6月には、事業者と業務委託契約を締結し、事業者から提案された企画の実施に向けた協議を重ね、順次イベントや教室等を開催してきました。

この度、令和5年度末に契約終期を迎え、当該事業の実績が確定したことから、成果について報告するものです。

2. 内容

(1) 事業内容

「SPRINGひらかた」については、本市が実施している「介護予防事業」等に参加していない健康無関心層をターゲットとして、趣味性の高いプログラムで「社会参加」のきっかけを提供するとともに、既存活動団体等と連携し、参加者が地域の中で生きがいを持ち、役割を担えるよう育成することで、仲間と一緒に続けられる仕組みづくりを実施したものです。



(2) 成果指標及び支払額 (実績の詳細 別添参照P10~14)

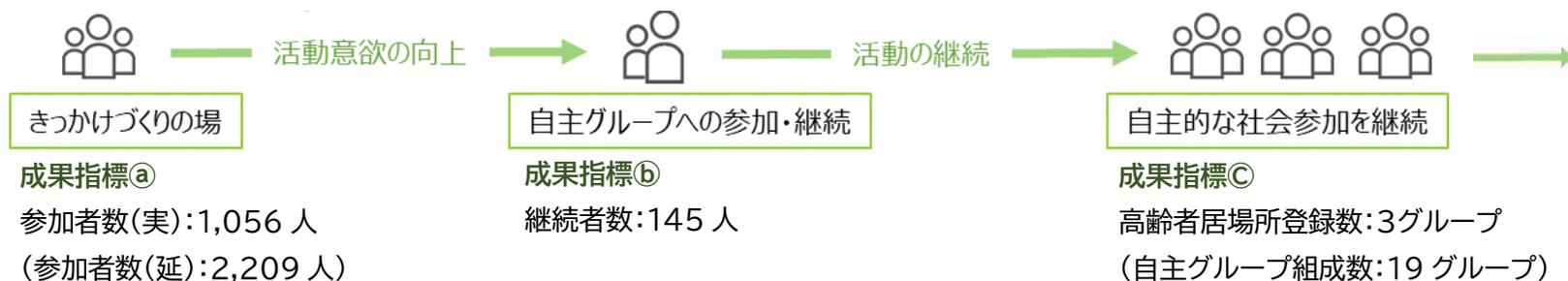
①令和4年度支払額:11,331,500円 (成果連動支払額 1,831,500円+最低支払額 9,500,000円)

成果指標	支払い		
	達成数 (目標数)	成果連動支払額 (上限額)	算定式
㉠「きっかけづくりの場」 実参加者数	407人 (500人)	1,831,500円 (2,250,000円)	$2,250,000円 \times (407人 / 500人)$

②令和5年度支払額: 8,700,000円 (成果連動支払額 7,950,000円+最低支払額 750,000円)

成果指標	支払い		
	達成数 (目標数)	成果連動支払額 (上限額)	算定式
㉠「きっかけづくりの場」 実参加者数	649人 (500人)	3,000,000円 (3,000,000円)	$3,000,000円 \times (649人 / 500人)$ ※目標数を達成しているため上限額とする
㉡「自主グループ」 新規実参加者数のうち 6か月間継続者数	145人 (300人)	4,350,000円 (9,000,000円)	$9,000,000円 \times (145人 / 300人)$
㉢高齢者居場所の登録数	3グループ (15グループ)	600,000円 (3,000,000円)	$3,000,000円 \times (3グループ / 15グループ)$

【事業イメージと成果】



将来にわたる介護予防!

(3) 取組の効果

①多様なアイデア、ノウハウ、コンテンツの施策化

行政では考えつかないユニークなプログラムを知ることに加え、事業全体のブランディングなどの包括的で戦略的な考え方を事業に導入できた。

ア) 健康無関心層の参加を促すための「新しい広報手段の活用」と「ブランディング」によるアプローチ

- 駅へのポスター掲示や独自SNSなど新しい広報ルート
- お揃いのロゴやグッズで仲間意識の醸成、オリジナルグッズ等の持ち歩きによる波及効果

【ロゴ・グッズ展開例】



イ) 活動そのものによるアプローチ

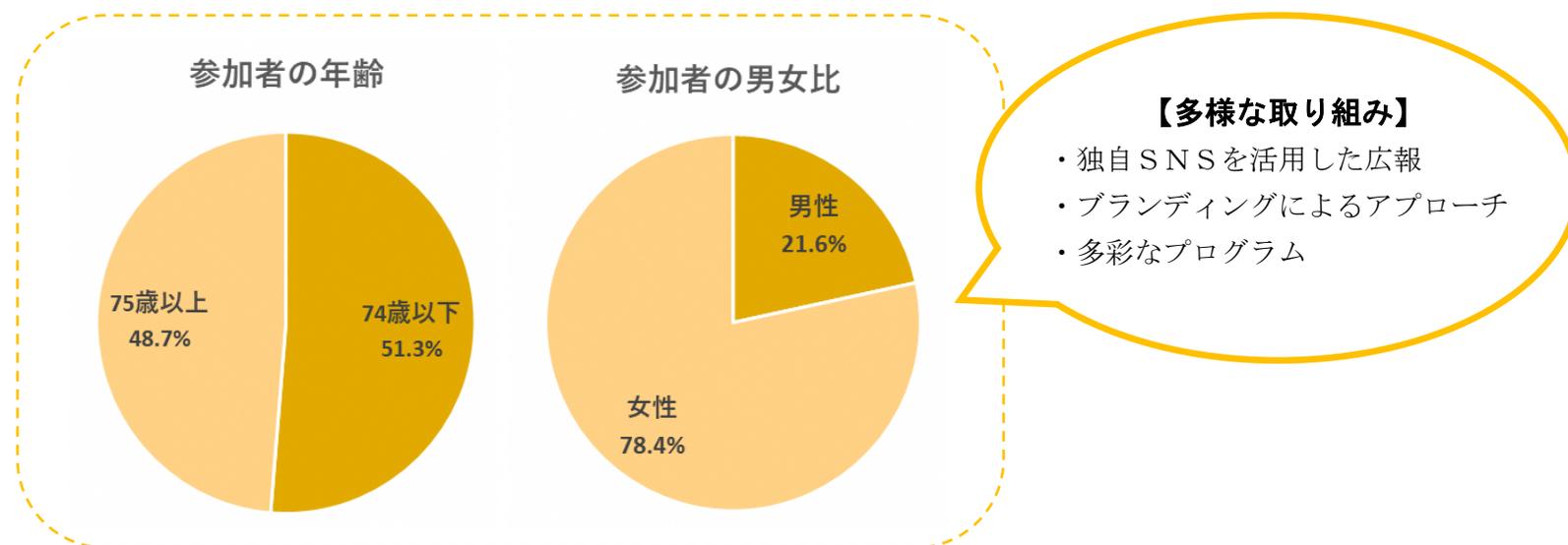
商業施設等の人の往来がある場所で、「学びの場」の修了生が学んだことを展示したり、取り組みを披露したりする「活躍の場」を設定することで、修了生たちが達成感を感じるとともに、その姿を見た人の「やりたい」気持ちを引き出す仕掛けを行った。



②参加者属性・参加者意見

【参加者の年齢】 74歳以下の前期高齢者の割合が半数を超え、他の介護予防教室等と比べて、若い層の参加率が高い結果となった（令和5年に度実施した「ひらかた脳活教室」に比べ、前期高齢者の参加割合は6.3ポイント高い）。

【参加者の男女比】 男女比に関しては、他の介護予防教室等と比べて、男性の割合が高い結果となった（「ひらかた脳活教室」に比べ、男性の参加割合は4.6ポイント高い）。



【参加者の意見】 ●今まで娘に生活を任せきりにしていたけど、もっと自分でグループに参加したいからスマホを買って直接連絡を取れるようにした。 ●出かける機会ができ、生活にメリハリが生まれています。 ●スポーツが全然できないので、こんな形の会に参加できてよかった等、多くの好意的なご意見をいただきました。

③新規の「自主グループ」の組成

「学びの場」の各テーマ型教室の内容に沿った活動を行う修了生グループが「9グループ」、また、修了生の興味関心事が広がりをもち、各テーマ以外の活動を行うグループ（部活動グループ）が「10グループ」組成され、あわせて「19の自主グループ」が継続して活動しています。

なお、部活動グループは、修了生が主体となり、「気づきの場」や「活躍の場」の参加者や、独自SNSの呼びかけに応じた修了生以外の人も参加し、活動の輪が広がっています。

修了生グループ (実施時期及び「学びの場」テーマ型教室名)		
1	R4	男・本気のコーヒー教室
2	R4	違いのわかるこだわりのコーヒー教室
3	R4	ゆる写真なかまをつくろう ～やさしい写真講座～
4	R4	本でおしゃべり ～読書会やってみる?～&スマホオンライン体験
5	R5	今からでも始められるゲームマスター講座
6	R5	違いのわかるこだわりのコーヒー教室
7	R5	はじめてのハンドケア教室
8	R5	ゆる写真なかまをつくろう ～やさしい写真講座～
9	R4 及び R5	SPRINGひらかた珈琲倶楽部 (1「男・本気のコーヒー教室」と2及び6「違いのわかるこだわりのコーヒー教室」の3つの教室の修了生が集まったグループ)

部活動グループ	
1	麻雀アーミー
2	ゆるまーじゃん
3	ゆるたび部(おとなの社会科見学)
4	さつえい遠足部
5	たのしいお酒部①
6	カフェ巡り部①
7	カフェ巡り部②
8	パン屋めぐり部
9	音楽とコーヒー
10	たのしいお酒部②

このうち、「本でおしゃべり」、「ハンドケア」、「SPRINGひらかた珈琲倶楽部」（前ページ左表の緑網掛け）の3つの「学びの場」のテーマに沿った修了生グループが活動拠点を決め、「高齢者居場所」として登録しました。



▲ 「本でおしゃべり」

▲ 「ハンドケア」

▲ 「SPRINGひらかた珈琲倶楽部」

④本事業による介護費用抑制効果（試算）

（「ヘルスケア分野におけるPFS/SIB事業組成パック」_「事業効果・支払条件ツール」（経済産業省）より算出）

趣味やスポーツに定期的に参加している高齢者は、その後の介護費用が低い傾向にあることが認められており、自主グループの活動を継続することで、さらなる抑制効果を見込むことができます。

介護給付費縮減見込み額：5,510千円（約2年間）
 145人×19千円※×2年間=5,510千円

※趣味の活動が月に1～2回の人々の1年間の
 介護給付費削減見込み額（一人当たり）：19千円
 （15ページ参照）

(4) 今後の取組

①「PFS」で得たノウハウ等を活かした取組の実践

「活躍の場」では、高齢者自らが活躍している姿が誰かの気づきになり、次の参加につながるなど取組の連鎖による効果がありました。今後は、現在、健康無関心層をターゲットに、主に運動系の介護予防活動を始めるきっかけづくりとして実施している屋外イベント「健活フェスタ」において、運動系の活動にとどまらず、今回組成された自主グループなどによる活動を積極的に取り入れた「活動そのものによるアプローチ」の実施を検討しており、このイベントを通して「きっかけづくり」とする予定です。

また、様々な介護予防事業における啓発については、ブランディングを意識したチラシの作成に加え、身近な場所で開催する介護予防教室等において、エリアを限定したポスター掲示や独自SNSの活用等の「PFS」で得たアイデアを用いた広報手段を活用するなど、「PFS」で得たノウハウ等を活かした取り組みを進めます。

②「自主グループ」の活動支援

「新たに組成された自主グループ」や「既存する自主グループ」が、今後も継続した活動ができるよう、今年度より新たな「介護予防拠点」として設置した「街かど健康ステーション」が、日々の活動の悩みや困りごとなどの相談窓口の役割を担うとともに、健康管理など専門性が高い支援が必要な場合には、市や地域包括支援センターが連携を図り、専門職による支援を行います。

また、「SPRINGひらかた」で組成した自主グループに限っては、引き続きロゴやグッズを使用できることから、活用しつつ継続した活動につながるよう支援していきます。

3. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち

9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち



4. 関係法令・条例等

・介護保険法

別添 SPRINGひらかたの取組の実績

	事業内容	令和4年度											令和5年度													
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
きっかけづくりの場	気づきの場	1. フェスタ (イベント)		告知		告知						告知														
		2. サロン※ (PRブース等)		告知		告知				告知		告知					告知									
		3. 既存活動団体ミーティング			関係構築・学びの場周知				活躍の場・学びの場周知				活躍の場継続状況把握													
	学びの場	1. テーマ型教室		告知	告知								告知	告知												
		2. 運営型教室					告知	告知									告知									
	活躍の場	1. SPRING CARAVAN※																								
		2. 地域イベント連携																								
		3. 活動フォロー																								

※ 「SPRING CARAVAN」は、「学びの場」の教室修了生が習得した技術を披露する「活躍の場」であるとともに、活躍している姿を見た誰かの気づきとなるように「気づきの場」の「2. サロン」としても位置づけています。

① 令和4年度（延べ参加者数：862人）

年月日	期別	イベント名	場所	延べ参加者数
令和4年9月15日（木）	気づきの場	ひらかたおでかけピクニック プレイイベント	枚方T-S I T E	17人
令和4年9月28日（水）		ひらかたおでかけピクニック	枚方市総合文化芸術センター本館	121人
令和5年1月24日（火）		【活躍の場】 SPRING CARAVAN 01	イズミヤ枚方店	117人
令和5年3月 25日（土）・26日（日）		【活躍の場】 SPRINGひらかた体験会	KUZUHA MALL ハナノモール1階	158人
令和5年3月29日（水）		【活躍の場】 SPRING CARAVAN 02	牧野生涯学習市民センター	114人
令和4年10月～（全6回）	学びの場	男・本気のコーヒー教室	イズミヤ枚方店フードコート	62人
令和4年10月～（全6回）		違いのわかるこだわりのコーヒー教室	枚方市立香里ヶ丘図書館	69人
令和4年10月～（全6回）		ゆる写真なかまをつくろう～やさしい写真講座～	枚方市総合文化芸術センター本館	83人
令和4年10月～（全6回）		本でおしゃべり ～読書会やってみる？～&スマホオンライン体験	枚方市立 地域活性化支援センター	21人
令和4年12月～（全3回）		地域イベント運営者向け座談会	枚方市総合文化芸術センター本館	39人
令和5年1月31日（火）	活躍の場	オカリナの会	枚方市立老人福祉センター楽寿荘	20人
令和5年2月8日（水）		くらわんか体操・脳トレの会	枚方市地域包括支援センターみどり	4人
令和5年2月15日（水）		体操とグラウンドゴルフの後の茶話会	中宮地区自治会館	14人
令和5年2月17日（金）		桜丘北スマホ教室	桜丘北福祉会館	11人
令和5年3月9日（木）		くつろぎミモザ 春のおしゃべり会	くつろぎミモザ（堤町）	12人

② 令和5年度（延べ参加者数：1,347人）

年月日	期別	イベント名	場所	延べ参加者数
令和5年4月15日（土）	気づきの場	SPRING フェスタ 2023	樟葉駅前広場／くずはモール	235人
令和5年5月23日（火）		【活躍の場】SPRING CARAVAN 03	ビオルネひらかた	40人
令和5年6月 10日（土）・11日（日）		御殿山フェスタ	御殿山生涯学習美術センター	112人
令和5年6月27日（火）		【活躍の場】SPRING CARAVAN 04	楠葉生涯学習市民センター	32人
令和5年7月 26日（水）～28日（金）		【活躍の場】SPRING CARAVAN 05	アル・プラザ枚方	123人
令和5年8月 22日（火）・23日（水）		【活躍の場】SPRING CARAVAN 06	イズミヤ枚方店	54人
令和5年9月15日（金）		【活躍の場】SPRING CARAVAN 07	アル・プラザ枚方	58人
令和5年10月4日（水）		ひらかた健活フェスタ	ニッペパーク岡東中央	168人
令和5年10月25日（水）		SPRING 部活動体験会	枚方市総合文化芸術センター本館	20人
令和5年5月～（全6回）		学びの場	今からでも始められるゲームマスター講座	枚方市地域活性化支援センター
令和5年5月～（全6回）	違いのわかるこだわりのコーヒー教室		くずはゴルフリンクス	104人
令和5年5月～（全6回）	はじめてのハンドケア教室		デ・ルッソ（楠葉並木）	81人
令和5年6月～（全6回）	ゆる写真なかまをつくろう～やさしい写真講座～		枚方市市民の森	101人
令和5年10月～（全3回）	地域イベント運営者向け座談会		枚方市総合文化芸術センター本館	39人

年月日	期別	イベント名	場所	延べ参加者数
令和5年6月8日(木)	活躍の場	こもれび教室	枚方市地域包括支援センター社協こもれび	16人
令和5年9月20日(水)		体操サロン	枚方市地域包括支援センターサール・ナート	15人
令和5年10月24日(火)		本でおしゃべり	くつろぎミモザ(堤町)	8人
令和5年11月20日(月)		春秋会	中楠葉集会所	12人
令和5年11月23日(木)		第12回ひらかた社協ふくしフェスティバル	ラポールひらかた	—
令和5年12月14日(木)		こもれび教室	枚方市地域包括支援センター社協こもれび	15人
令和5年12月15日(金)		桜丘北スマホ教室	桜丘北福社会館	15人
令和6年2月16日(金)		桜丘北スマホ教室	桜丘北福社会館	15人

③ 既存活動団体との連携(令和5年度)

年月日	イベント名	場所	備考
令和5年5月11日(木)	SPRINGひらかた お楽しみ交流会	サンプラザ生涯学習市民センター	既存活動団体と関係機関、修了生の交流会
令和5年6月16日(金)	SPRING CARAVAN 04 事前説明交流会	楠葉生涯学習市民センター	既存活動団体と関係機関、修了生の交流会

④ 自主グループ活動のサポート（令和5年度）

年月日	イベント名	場所	備考
令和5年4月7日（金）	ゆる写真サークル交流会	大阪市内フォトスタジオ	他市の写真サークルと合同で交流会
令和5年5月12日（金）	本でおしゃべり修了生の会	枚方市総合文化芸術センター	修了生の近況報告等の交流会
令和5年5月19日（金） 令和5年7月7日（金）	ゆる写真なかまをつくろう修了生の会	枚方市総合文化芸術センター	修了生の近況報告等の交流会
令和6年2月9日（金）	撮影教室フォローアップ講座	大阪市内フォトスタジオ	修了生を対象としたフォローアップ講座
令和5年6月9日（金） 令和5年8月10日（木）	本でおしゃべり修了生の会	サンプラザ生涯学習市民センター	修了生の近況報告等の交流会
令和5年7月 6日（木）・7日（金）	健康まちづくりEXPO見学	グランフロント大阪	男・本気のコーヒー教室修了生
令和5年8月9日（水） 令和6年2月19日（月）	コーヒー教室フォローアップ講座	くずはゴルフリンクス 枚方市総合文化芸術センター	修了生を対象としたフォローアップ講座
令和5年11月15日（水）	音楽とコーヒー	香里ヶ丘図書館	修了生グループが企画したイベント
令和6年1月23日（火）	コーヒー修了生の会	枚方市駅周辺	修了生の近況報告等の交流会
令和6年1月26日（金）	ハンドケア教室フォローアップ講座	枚方市地域包括支援センター社協こもれび	修了生を対象としたフォローアップ講座
令和6年3月13日（水）	SPRINGひらかた同窓会	枚方市総合文化芸術センター	修了生と部活動参加者の交流会

5-1. 成果指標1単位当たりの事業効果A（1年の場合）

(ケ) 成果評価の方法の検討
 共通的ガイドラインp.17参照
 医療・健康及び介護分野の手引きp.20参照

- 高齢者の社会活動継続参加者数が1人増加することの介護費用抑制効果は、1年間で約7千円～21千円見込むことができる

成果指標の候補

#	成果指標
1	社会活動プログラム参加者数※
2	社会活動継続参加者数
3	要支援・要介護リスク評価尺度維持者数
4	介護保険給付認定者削減数or受給額

※ 社会活動プログラム参加者数が増加した（単発的な社会活動）ことによる直接的な効果を推計したエビデンス情報がないため、社会活動プログラム継続参加者数によって事業効果を推計することが望ましい。

検討時のポイント

活動の種類・頻度により介護給付費の縮減額は異なるため、PFS/SIB事業において想定される介入内容や、介入頻度を踏まえて成果指標1単位当たりの事業効果額を設定する。

1年間の介護給付費縮減（1人当たり）	月に1,2回	週1回	週2回
趣味の活動	19千円	17千円	21千円
スポーツ	7千円	19千円	20千円

※ 表中の金額は、エビデンスで示されている6年分の介護給付費縮減額から、本事業組成パックにて算定した数値である。

関連エビデンス情報

- ・ 平井 寛（山梨大学大学院総合研究部生命環境学域）「活動性の低い高齢者の介護費用は高くなる」、山梨大学報道発表No:284-21-22、2021年6月
- ・ 東馬場 要（千葉大学大学院医学薬学府医科学研究科）「年数回以上の社会参加で要介護リスク抑制」、千葉大学報道発表No:293-21-31、2021年8月
- ・ 宮澤 拓人（千葉大学大学院医学薬学府）「地域組織の参加種類数が多いほどうつになりにくい」、千葉大学報道発表No:294-21-32、2021年8月

成果指標2における成果指標1単位当たりの事業効果A

社会的便益を想定した場合の例



社会活動継続参加者数が1単位（人）上昇することによる事業効果は、**1年間で約7千円～21千円**見込まれる。

項目A	介護給付費縮減額
金額A(参考値)	約7千～21千円（1人当たり・1年間） ※各団体で要検討
設定条件A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳以上の対象者が、少なくとも月に1,2回～週2回の社会活動（趣味やスポーツ等の活動）に参加している対象者と社会活動への参加をしていない対象者を比べた際の1人当たり1年間の介護費用の差* ・ 下記エビデンスで示されていた6年間分の縮減額を按分し、1年あたりの縮減額を算定
エビデンス情報A	斉藤 雅茂（日本福祉大学）、近藤 尚己（京都大学）、相田 潤（東京医科歯科大学）、齋藤 順子（国立研究開発法人国立がん研究センター）、姉崎 久敬（国立循環器病研究センター）、尾島 俊之（浜松医科大学）、近藤 克則（千葉大学） "Differences in Cumulative Long-Term Care Costs by Community Activities and Employment: A Prospective Follow-Up Study of Older Japanese Adults" , International Journal of Environmental Research and Public Health, 18(10), 5414, 2021年

* 社会活動の参加状況はモニタリングしておらず、時点での確認。